

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	宮城県	事業実施主体	宮城県、色麻町	地域再生計画名	地域資源を活かした観光交流推進計画
計画期間	令和2年度～令和4年度	評価責任者	色麻町産業振興課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	年間観光客入込数増加	4,540人	H30	4,885人	R3	4,890人	5,000人	R4	5,174人	○	3	2	目標を達成しており、引き続きアクセス道の維持に努めていく。
	指標2	林業振興と森林整備	5ha	H30	10ha	R3	12.54ha	20ha	R4	22.05ha	○	3	2	目標を達成しており、引き続き森林整備を進めていく。
	指標3	林業労働者の維持	8名	H30	8名	R3	7名	8名	R4	7名	×			計画期間内の採用ができなかったが、令和5年9月に1名採用見込み。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（R2）	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）		5,930m	5,930m	5,930m	完了								
	林道整備事業（整備延長）		2,440m	2,440m	2,440m	完了								
その他の事業	温暖化防止森林づくり推進事業（温暖化防止間伐推進事業）		面的にまとまって計画的に行う搬出間伐の森林施業			制度改正があり、森林環境保全整備事業で搬出間伐を行った								
	森林環境保全整備事業		面的にまとまって計画的に行う人工造林の森林施業			森林経営計画に基づき、搬出間伐を行った。人工造林は令和4年度に行う予定である。								
	大滝野営場トイレ修繕		年間観光客入込数の増加を見込んでいることから、トイレの修繕を行い、利便性の向上を図る			トイレの破損状況が激しかったため、既存のトイレを解体し、簡易トイレ2基を設置した								
	観光地の魅力向上		パンフレット、メディア等の広告媒体を活用した宣伝を推進し、観光のPRを推進			船形山へのルートを詳しく記載したパンフレットを新たに作成し、観光のPRを推進した								
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	指標に関する独自調査、長期総合計画推進会議（評価・検証）													
⑤事後評価の公表方法	色麻町のホームページにて公表													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道整備と林道整備を一体的に行うことにより、観光資源である船形山等へのネットワークを強化することで、観光客数の増加・滞在時間の延長を図るとともに地域住民との交流を促進する。加えて、林業施行における効率化と生産コストを抑えることで、林業・木材産業の生産活動を向上させ、林業の振興を図っていく。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、交流人口増加に資する道を整備した。町では令和4年度より「交流人口増加のためのコンテンツ創出戦略」の策定を行い、住民等によるワークショップを実施している。令和5年度も引き続きワークショップを実施し町の魅力を発信するための事業を行っており、町全体の観光事業を推進していく。													